

厳しい状況は変わらず、今後の海外経済の先行きを懸念

9月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

シルバーウィークや各イベントで明るい兆しが見られた業種もあったが、全体の景況としては非常に厳しい状況が続いている。国内だけではなく、中国経済低迷やVW排ガス不正問題等で海外経済の先行きが懸念される。

| | | | |
|------|---------|--|---|
| 製造業 | 食料品 | | 菓子はお彼岸・敬老の日・十五夜などのイベントが多く好調に推移している。製麺は8月後半から続く天候不順の影響もあり、乾・生麺とも荷動きは低調で、厳しい状況は変わらず。酒造は本醸造酒が前年比1割程減少した。 |
| | 繊維・同製品 | | 桐生織物は「桐生織姫展」や七五三関連での和装織物の売上に期待している。伊勢崎織物は伊勢崎銘仙の認知度は高まっているが、消費には結びついていないのが現状で、原材料の高止まり等厳しい経営環境が続いている。 |
| | 窯業・土石製品 | | コンクリート製品は県内の大型事業も一段落し、先行きが不透明である。コンクリートブロックは長雨により出荷状況はあまり良くない。生コンは全県的に落ち込みが目立つ。砕石は地域間格差が大きいだが、例年並みに推移している。 |
| | 機械・金属 | | 太田地域は富士重工北米工場の生産稼働を控え、減産見込みの企業もあり、影響を懸念している。館林地域は中国経済減速から中国向け輸出が大幅に落ち込んでいる。大利根団地は電機関連のコストダウン要請が多く対応に苦慮している。 |
| | その他の製造業 | | 製材は荷動きが特定商品のみで、収益の悪化が続いている。ゴムは新規分野への製品開発を進める企業が散見される。印刷は依然続く原材料の値上げや国内需要の減少による稼働率の低下により、厳しい状況が続いている。 |
| 非製造業 | 卸売業 | | 卸団地は新卒者獲得に苦戦し、人材確保が今後の課題である。農産物卸は豪雨や台風など天候不順による品不足により、野菜・果実ともに高値が続いている。水産物卸は旬サンマの入荷が少なく、売上に大きな影響がでている。 |
| | 小売業 | | 家電小売は冷蔵庫・洗濯機が好調。燃料小売は販売価格が原油安の影響から前年比30円/ℓ以上値下がり、売上が減少している。生花小売はお彼岸・敬老の日・ウェディングがシルバーウィークに集中し、店舗に活気が戻る。 |
| | サービス業 | | 四万温泉はシルバーウィークや中之条ピエンナーレの見学者で宿泊・日帰りともに増加している。伊香保は旅館により明暗が分かれる。不動産取引は吾妻郡地域では総じて低調で、売買・賃貸ともに取引件数が減少し苦戦が続いている。 |
| | 建設業 | | 建築工事は工事量が減少傾向の中、地域密着型の企業の衰退により災害時等の対応を懸念している。塗装工事は学校や県営住宅の改修工事の発注があったが、一般住宅の塗り替え等が前年比7割程度となり、全体の売上高も減少した。 |
| | 運輸業 | | 荷動きは低調の中、一部、車両不足により運賃が若干値上がりした一方、まだ値下げを打診する荷主もいる状況である。小口輸送は食料品・建材関係の動きが少々良く、遠方輸送も増加したことから売上高・件数ともに増加している。 |

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 111.3(前月比▲7.3%)「県統計課・8月」
- 販売電力量 134,810万KWh(前年同月比▲5.1%)「東電群馬総支社・8月」
- 住宅着工戸数 1,374戸(前年同月比+54.9%)「県建築住宅課・8月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.78倍:有効1.28倍「群馬労働局・8月」
- 大型小売店販売額 198億円(前年同月比+4.1%)「経済産業省・8月」
- 消費者物価指数(全国) 103.4(前年同月比+0.1%)「総務省統計局・8月」
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)